取付説明書

FRP浴槽
ポリーナ

据置形
PB-752ARM
PB-762CM
PB-762CSM

埋込形
PB-751ARM

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
この取付説明書をよく読み、正しく本商品を設置してください。

設置前に必ずお読みください

● 設置に際しては、必ずこの取付説明書に従い正しく設置してください。
この取付説明書は浴槽周囲の壁仕上げ完了まで活用します。捨てずに次工程の施工業者の方に手渡してください。
※この取付説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。

●「保証書」および「取扱説明書」は貴店名、設置年月日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。

● 人造大理石浴槽、FRP浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破砕の上許可された処理場にて処理してください。

24時間バス（浴槽水浄化保温器）に該当する機器は使用しないでください。

※24時間バスに該当する機器を継続して使用すると、浴槽表面の**荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

安全のため必ずお読みください

●ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
設置前にこの項目をよくお読みいただき、正しく設置してください。

表示マークおよび絵表示の説明

◎**表示マークについて**
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のマークで区別し、説明しています。

⚠注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
⃠	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
❗	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注意

浴槽の上に乗って作業をしないでください。 ⃠
※足を滑らせて**ケガをしたり、浴槽にキズが付く恐れ**があります。

設置に使用する溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は容器等に記載の注意表示に従って、正しく使用してください。 ❗
※使い方を誤ると**人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の劣化や損傷の原因**になることがあります。

2階以上の階に設置する場合は、必ず床の防水工事を行ってください。 ❗
※設置に不備があると、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

浴槽と壁・タイルの接合部分は、必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンシーリングをしてください。 ❗
※設置に不備があると**漏水したり、タイルや浴槽が破損する恐れ**があります。

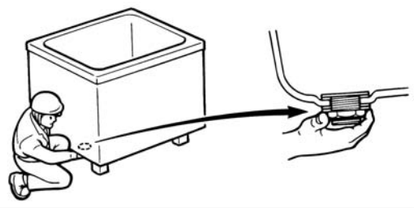
循環釜を取り付ける場合は、循環釜の取付説明書もよくお読みの上、正しく取り付けてください。 ❗
※取付けが不完全な場合、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

循環釜を取り付ける場合、エプロンを貫通した穴あけは、絶対に行わないでください。 ⃠
※万一空だきをした場合、**火災の恐れ**があります。

設置前のご注意

●浴槽本体に破損等がないことを確認してください。
※商品には万全を期してありますが、輸送等で**破損している場合**があります。
そのような場合は、取扱店へお問い合わせください。

●排水口の固定がゆるんでいないことを確認してください。
※輸送等で**ゆるんでいる場合**があります。



●必ず搬入経路を確保してください。
また、運搬するときは必要人数を確保し、引きずったり、エプロン部に力の加わるような運搬はしないでください。
※**浴槽が破損する恐れ**があります。

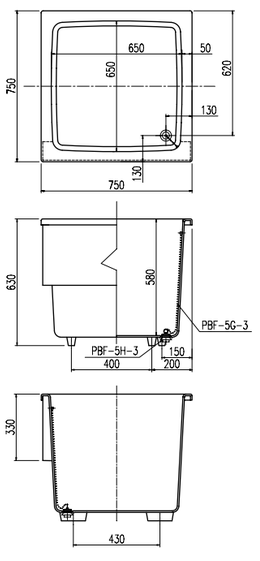
●納品された部品の確認を必ず行ってください。

●壁材との取合いを確認してください。

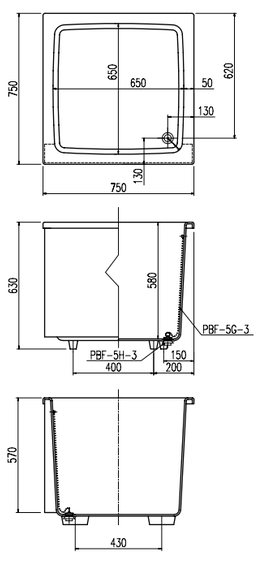
●浴槽裏面、エプロン裏面の発泡スチロールを取らないでください。

商品図

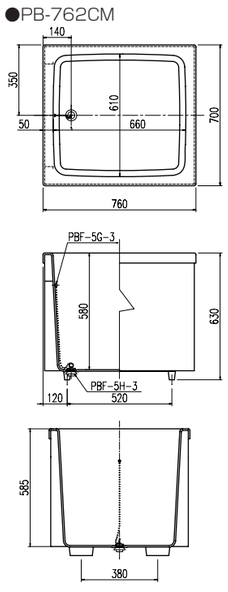
●PB-751ARM



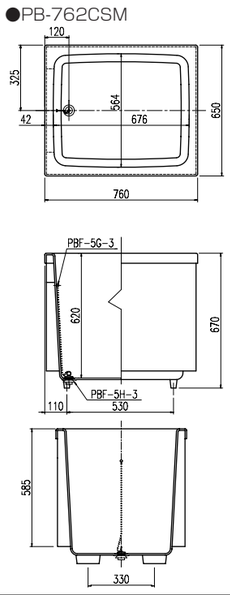
●PB-752ARM



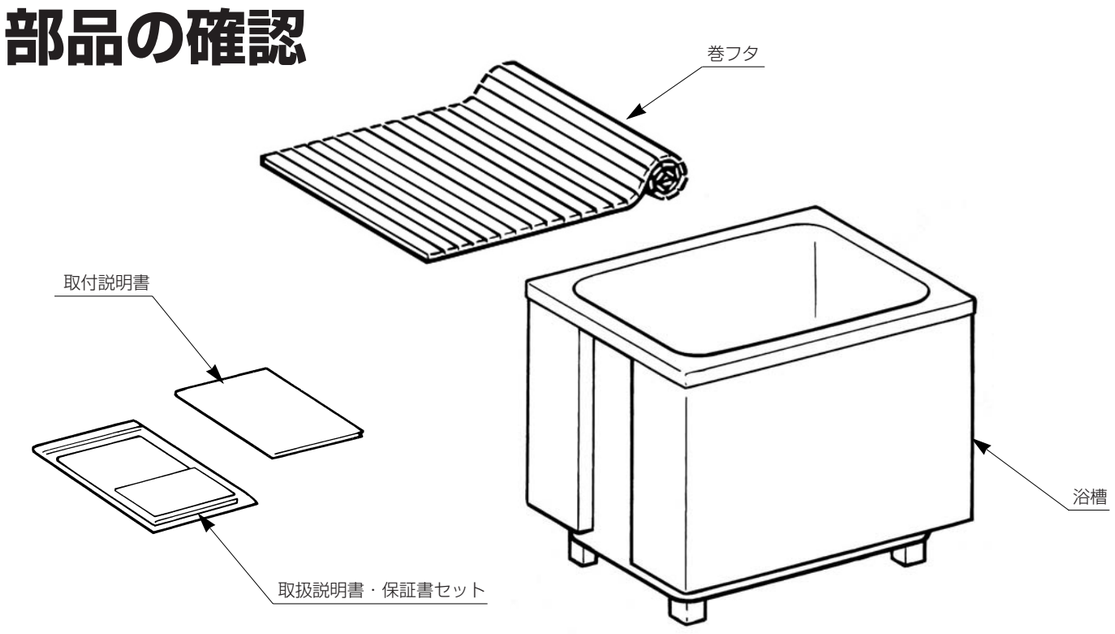
●PB-762CM



●PB-762CSM

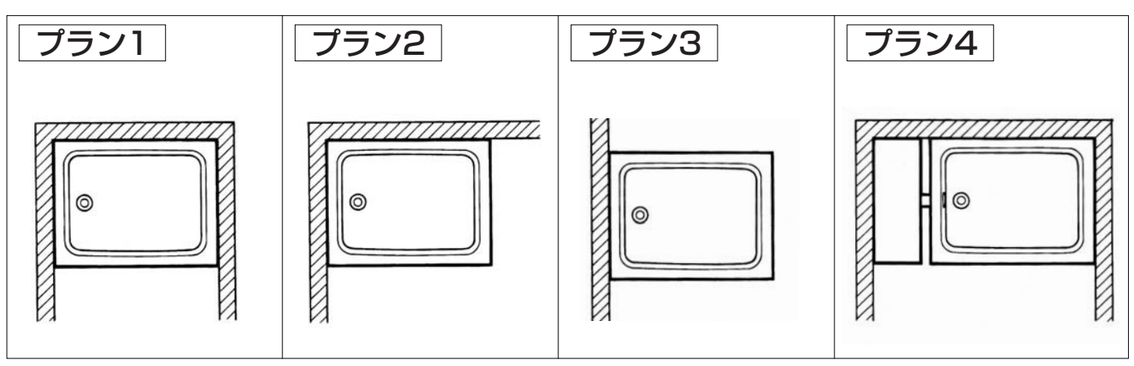


部品の確認



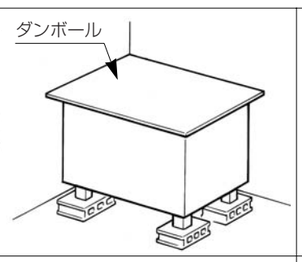
※取扱説明書・保証書は店名を記入の上、必ずお客様にお渡しください。

設置プラン

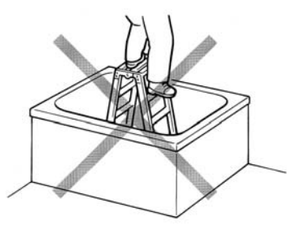


設置上のご注意

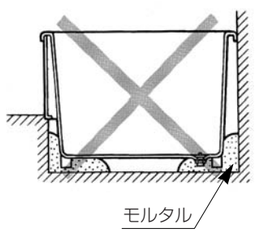
●設置は浴槽全体をビニールカバーやダンボール等で保護してください。
※浴槽が**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。



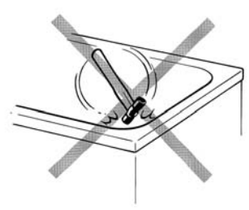
●絶対に土足でのったり、脚立等を浴槽内に立てないでください。
※浴槽が**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。



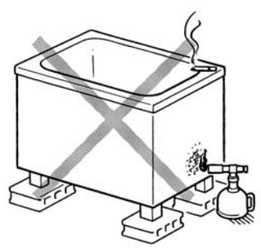
●浴槽にモルタルを付着させないでください。さらに、右図のようなモルタル埋込みは絶対にしないでください。
※裏面から圧力が加わり、**浴槽が長持ちしない恐れ**があります。



●浴槽に硬いものをぶつけたり､工具等を落さないでください。
※浴槽が**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。



●トーチランプの火や溶接の火花、タバコの火等が浴槽に当たらないようにしてください。
※浴槽が**破損したり、変色する恐れ**があります。

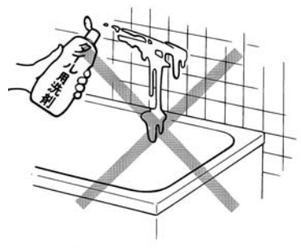


●浴槽の上部に重いものを載せたり、表面にモルタル等を付着させないでください。
※浴槽に**キズが付く恐れ**があります。

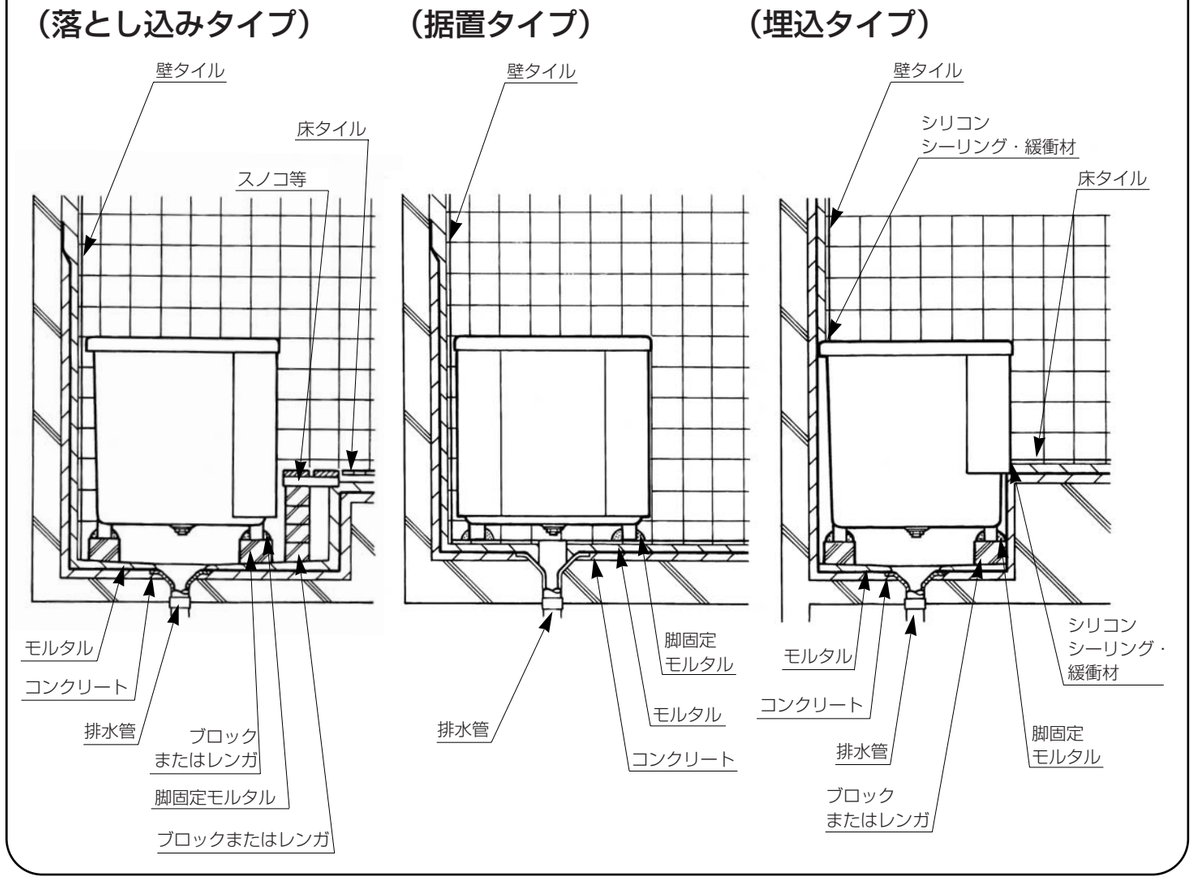
●浴槽手すり部の養生シートは、設置が完了するまで、はがさないでください。
※浴槽表面に**キズが付く恐れ**があります。

ただし、手すり部を埋め込む場合は埋込部のシートのみをはがして設置してください。

●浴槽にタイル洗いの塩酸等を含んだ洗剤をかけないでください。
※浴槽が**傷みます**。
万一かかった場合は、すぐに水で洗い流してください。



設置例



■設置に際して

この商品はタイプにより、手順が異なります。
右表に従って設置してください。

タイプ	埋込タイプ	落とし込みタイプ	据置タイプ
手順	1→2→3A→4	1→2→3B	1→3C

設置手順

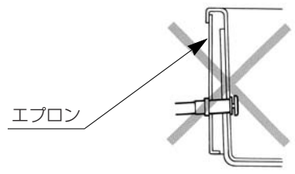
1 循環釜接続用の穴あけ（循環釜を取り付ける場合）

循環釜を取り付ける場合は、循環釜接続用の穴あけを行います。

⚠注意

循環釜の取付説明書もお読みの上、正しく取り付けてください。
※取付けが不十分な場合、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

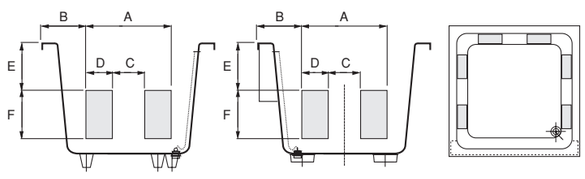
エプロンを貫通した穴あけは、絶対に行わないでください。
※万一空だきをした場合、**火災の恐れ**があります。



①穴あけ位置（下図斜線部）を確認します。

●穴あけ位置（下図斜線部）以外に穴をあけないでください。
※**漏水の原因**となります。
循環釜の取付説明書もお読みの上、穴をあけてください。

●PB-751・752

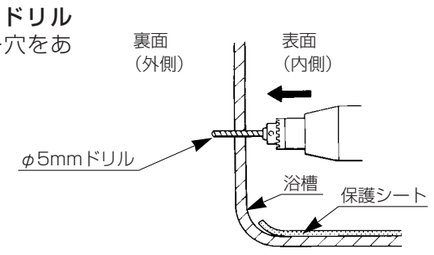


長辺方向はエプロンのない側のみ可能　短辺方向は両面可能

※ ▨ 部分は、風呂釜穴の中心にくる寸法です。
※PB-762は排水口側のみ可能です。

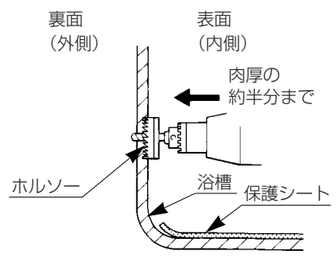
品　番	A	B	C	D	E	F
PB-751ARM	440	150	170	130	245	250
PB-752ARM						
PB-762	320	190	–	–	245	250

②**φ5mmのドリル**でセンター穴をあけます。



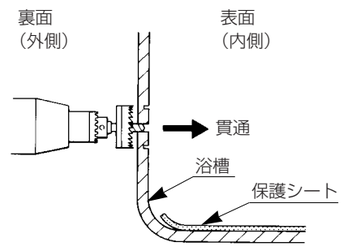
●ドリルはよく切れるものをお使いください。
穴あけ面と垂直にして、強く押し付けず、ゆっくりと慎重に行ってください。
※穴の周囲が破損する原因となります。

③浴槽表面（内側）からセンター穴をガイドにして、ホルソーで肉厚の約半分（約2mm）まで穴をあけます。

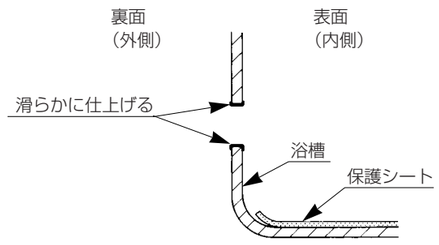


●ホルソー（超硬刃付き）やホルソーのセンタードリルはよく切れるものをお使いください。
穴あけ面と垂直にして、強く押し付けず、ゆっくりと慎重に行ってください。
※穴の周囲が破損する原因となります。
●ホルソーのセンタードリルが浴槽を貫通した際に、ホルソーが浴槽に強くぶつからないようにしてください。
※穴の周囲が破損する原因となります。
●一気に貫通しないでください。
※穴の周囲が破損する原因となります。

④浴槽裏面（外側）からホルソーにて貫通穴をあけます。



⑤穴あけ後はサンドペーパー（＃150程度）等で穴の切口を滑らかに仕上げます。

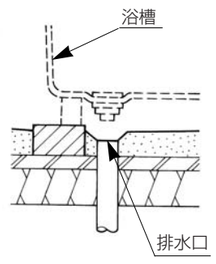


●サンドペーパー等で仕上げる際に、浴槽表面（内側）にキズを付けないようにしてください。

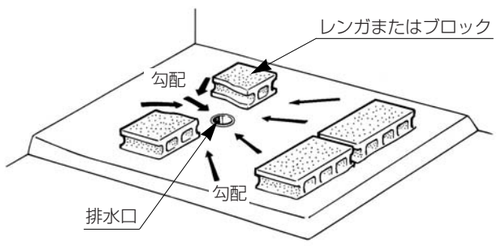
【埋込、落とし込みタイプの場合】

2 浴槽の下地作り

①排水口の位置を商品図で確認し、φ75mm以上の穴をあけます。
※排水は**間接排水**としてください。



②排水口への排水勾配（1/50～1/100程度）を設けます。
③浴槽脚部の位置を商品図で確認し、土台の位置を決めます。
④浴槽の土台にはレンガ、またはブロックを使用し、上面が水平になるように固定します。
●土台は脚全体が載せられる大きさのものを使用してください。
※破損や転倒の原因となります。



⚠注意

2階以上の階に設置する場合は、必ず床の防水工事を行ってください。
※設置に不備があると漏水により、**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

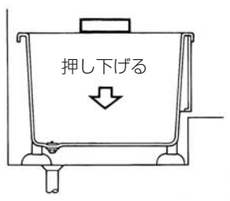
【埋込タイプの場合】

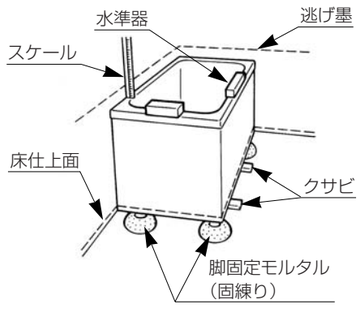
3A 浴槽の設置

〔保温材について〕

●保温材は付けたままで設置してください。
その際、保温材がブロックやレンガと当たらないようにしてください。万一当たる場合には、その部分だけ保温材を取り除いてください。
●保温材と循環釜はできるだけ離れるよう設置してください。万一循環釜・接続管と直接当たる場合には、その部分だけ保温材を取り除いてください。

①浴槽の土台に、モルタル（固練り）を盛ります。
②スケールを立て、浴槽の上に水準器を置いて、逃げ墨からの寸法に注意しながら、下図のように真上から徐々に浴槽を所定のレベルまで押し下げます。
※所定のレベルまで押し下げたら、エプロンの下にクサビを入れて、これ以上下がらないようにしてください。





●浴槽を所定の位置より下げ過ぎた場合には、浴槽を外してモルタルの盛り上げからやり直してください。
※ただ持ち上げただけでは、浴槽は浮き上がって固定されません。
●モルタルが固まるまで浴槽に乗ったり、釜を取り付けないでください。
※浴槽がかたむいたり、沈下する場合があります。
●モルタルや砂で浴槽を直接固定する等、裏面から直接圧力が加わる設置や、手すり部だけで支える設置は絶対にしないでください。
※浴槽が**破損する恐れ**があります。

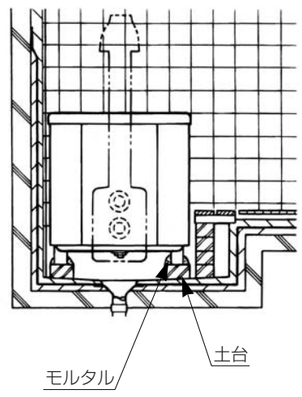
【落とし込みタイプの場合】

3B 浴槽の設置

〔保温材について〕

●保温材は付けたままで設置してください。
その際、保温材がブロックやレンガと当たらないようにしてください。万一当たる場合には、その部分だけ保温材を取り除いてください。
●保温材と循環釜はできるだけ離れるよう設置してください。万一循環釜・接続管と直接当たる場合には、その部分だけ保温材を取り除いてください。

①浴槽の土台に、モルタル（固練り）を盛ります。
②浴槽の上に水準器を置いて、真上から徐々に浴槽を押し下げます。
※水平がとれていないと、浴槽内に水が残る場合があります。



●モルタルが固まるまで浴槽に乗ったり、釜を取り付けないでください。
※浴槽がかたむいたり、沈下する場合があります。
●モルタルや砂で浴槽を直接固定する等、裏面から直接圧力が加わる設置や、手すり部だけで支える設置は絶対にしないでください。
※浴槽が**破損する恐れ**があります。

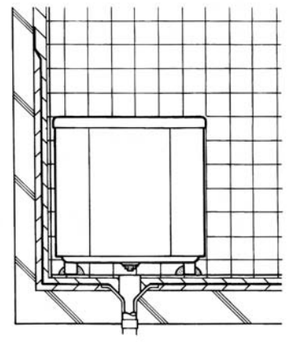
【据置タイプの場合】

3C 浴槽の設置

〔保温材について〕

●保温材と循環釜はできるだけ離れるよう設置してください。万一循環釜・接続管と直接当たる場合には、その部分だけ保温材を取り除いてください。

①浴室床面に浴槽を置きます。
②浴槽脚部をモルタル（固練り）等で固定します。
※この設置方法は浴槽が倒れやすいので、転倒防止対策を行ってください。



4 仕上げ

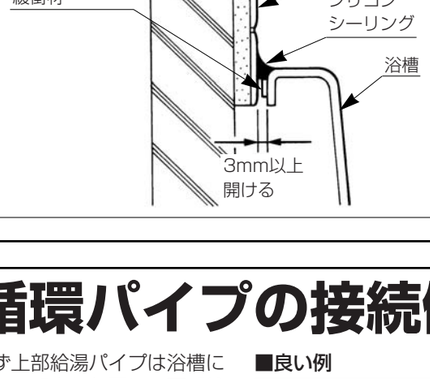
〔壁付面取合い例〕

⚠注意

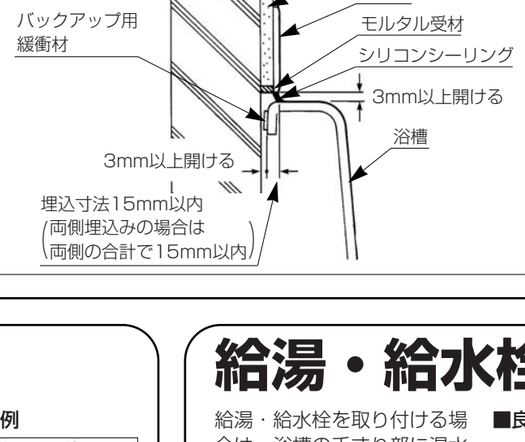
浴槽と壁・タイルの接合部分は必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンシーリングをしてください。
※設置に不備があると**漏水したり、タイルや浴槽が破損する恐れ**があります。

●バックアップ用緩衝材は、クッションテープ等の柔らかいものを調達してください。
※塩化ビニールやゴム系のバックアップ材の中には、その成分によりシリコンシーリングを黄変させるものがありますので使用前に確認してください。（推奨タイプ：ポリエチレン発泡体のバックアップ材）
●「設置例2」のように、手すり部を壁に埋め込む場合、埋込寸法は15mm以内にしてください。（浴槽の両側を埋め込む場合は、両側の合計で15 mm以内）
※風呂フタが置けなくなったり、はみ出したりする場合があります。

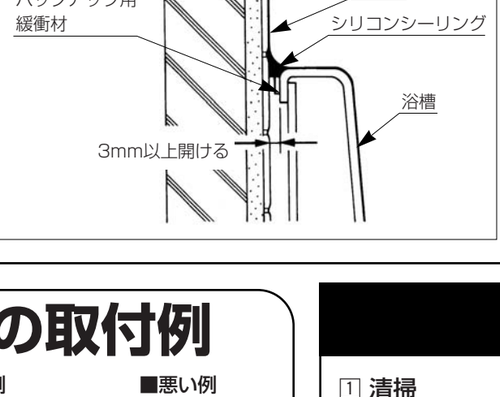
設置例1



設置例2

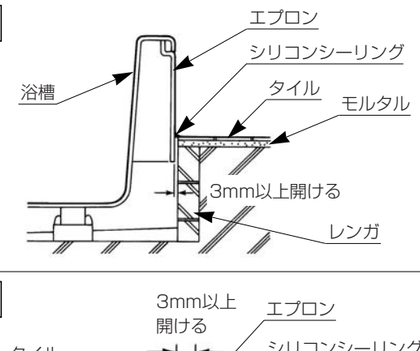


設置例3

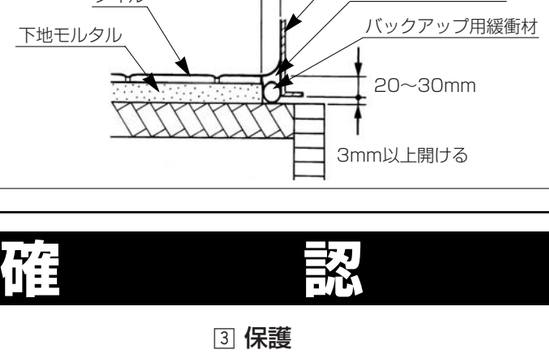


〔エプロン取合い例〕

設置例1



設置例2



循環パイプの接続例

必ず上部給湯パイプは浴槽に向かって上り勾配に、下部給水パイプは下り勾配になるように接続してください。
※循環パイプの接続が悪いと、湯の沸き（熱効率）が悪くなるばかりでなく、循環釜に悪影響を及ぼします。

■良い例

■悪い例

給湯・給水栓の取付例

給湯・給水栓を取り付ける場合は、浴槽の手すり部に湯水が当り、飛び散らないようにしてください。
※長期間使用していると、水質により手すり部に水アカやサビが付着する場合があります。

■良い例

■悪い例

確　　認

1 **清掃**
浴槽内のゴミや異物を取り除きます。

2 **水漏れの確認**
給水、排水して循環金具の取付部等より水漏れがないことを確認します。

3 **保護**
浴室の全ての設置が完了するまで浴槽全体をダンボール等で十分保護します。

4 **引渡し**
取扱説明書により正しい使い方をご説明の上、取扱説明書、保証書（内容記入の上）を必ずお施主さまにお渡しください。

LIXIL

PPB-0124(10040)